

財政見通し

(平成20年度から平成24年度)

平成20年10月

宝 塚 市

(企画財務部 行財政改革室 財政課)

【概要】

1 作成時点

平成20年10月

2 財政見通し作成上の前提条件

今回作成する財政見通しの前提条件は次のとおり

項目	前提条件										
対象とする会計	普通会計一般財源ベース										
財政見通し期間	平成20年度～平成24年度（5カ年）										
平成19年度数値	平成19年度決算額 歳入歳出の一般財源額（臨時＋経常）と合致する										
平成20年度数値	平成20年度9月補正後予算計上額及び一部今後の補正見込額を反映										
収入	<p>【基本的算出方法】 平成19年度決算額から今後の見込額を算出</p> <p>【個人市民税、法人市民税】</p> <p>①平成20年度………当初予算額に平成19年度決算及び平成20年8月までの実績等を反映</p> <p>②平成21年度～平成24年度 経済前提</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成20</th> <th>平成21</th> <th>平成22</th> <th>平成23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名目経済成長率</td> <td>0.30%</td> <td>1.90%</td> <td>1.70%</td> <td>1.50%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成21年度………平成20年度経済動向試算（内閣府試算）による名目経済成長率を採用 ※平成22年度以降…財務省による平成20年度予算の後年度歳出・歳入予算への影響試算等の名目経済成長率を採用</p> <p>③確定済の税制改正を反映</p> <p>【固定資産税・都市計画税】</p> <p>①平成21年度及び平成24年度…評価替えを見込む</p>	年度	平成20	平成21	平成22	平成23	名目経済成長率	0.30%	1.90%	1.70%	1.50%
	年度	平成20	平成21	平成22	平成23						
	名目経済成長率	0.30%	1.90%	1.70%	1.50%						
	譲与税・交付金	<p>【配当割交付金・株式等譲渡所得割交付金】</p> <p>①平成20年度………平成20年8月までの実績状況から減額を見込む</p> <p>②平成21年度以降………上記の経済前提と税率の改正を見込む</p> <p>【地方特例交付金】</p> <p>①平成20年度………普通交付税算入資料より見込む（今後補正予算計上額を含む）</p> <p>②平成21年度以降………上記の経済前提より見込む</p> <p>③特別交付金（定率減税分）については、平成21年度までの措置のため、平成22年度以降は廃止</p>									
	交付税	<p>【普通交付税】</p> <p>①平成20年度………普通交付税算入資料より見込む（今後補正予算計上額を含む）</p> <p>②平成21年度以降………発行済地方債の理論償還率等から基準財政需要額を、市税、譲与税・交付金等の今後の見込額から基準財政収入額を見込むことにより、今後の見込額を算出</p> <p>【特別交付税】</p> <p>①平成20年度………当初予算計上額</p> <p>②平成21年度以降………平成20年度当初予算額と同額を見込む</p>									
臨時財政対策債	<p>①平成20年度………普通交付税算入資料より見込む（今後補正予算計上額を含む）</p> <p>②平成21年度以降………平成20年度見込額と同額を見込む</p>										
その他の収入	<p>【寄附金】</p> <p>①平成20年度………今後補正予算計上額を見込む（日本中央競馬会からの環境整備費を見込む）</p> <p>②平成21年度………平成20年度見込額と同額で見込む</p> <p>③平成22年度以降………平成19年度決算額等から見込む</p> <p>【特定目的基金取り崩し】</p> <p>①平成20年度………長寿社会福祉基金取り崩し2億円、子ども未来基金取り崩し1.5億円を計上</p> <p>②平成21年度～平成23年度………平成20年度と同額を計上</p> <p>③平成24年度………子ども未来基金取り崩し1.5億円を計上</p> <p>【その他の収入】</p> <p>①平成20年度………9月補正後予算額</p> <p style="margin-left: 40px;">※使用料・手数料、財産収入等</p> <p style="margin-left: 40px;">※文化施設建設基金取り崩し12.42億円を計上</p> <p style="margin-left: 40px;">※市債管理基金取り崩し0.74億円を計上</p> <p>②平成21年度以降 平成20年度当初予算経常収入分を見込む</p> <p>③平成23年度・平成24年度は、病院事業への貸付償還金を見込む</p>										

項 目		前 提 条 件
支出	人件費	<p>【職員等人件費】</p> <p>①都市経営改革行動計画及び同計画に基づく財政健全化に向けての取組額を反映</p> <p>②定員適正化計画を反映</p> <p>【議員報酬、委員報酬】</p> <p>①平成20年度………当初予算計上額</p> <p>②平成21年度以降………平成20年度当初予算額と同額を見込む 平成22年度は市長選挙関係報酬、平成23年度は市議会議員選挙関係報酬を見込む</p>
	扶助費	<p>①平成20年度………9月補正後予算額 ※議会否決分（市民福祉金）83百万円を計上</p> <p>②平成21年度以降………平成20年9月補正後をベースに、対前年度伸率3%として算出</p>
	公債費	<p>【既発債】 実額</p> <p>【新発債】 臨時財政対策債、投資所要額（20億円）等を見込む</p> <p>①公募債の償還金積立分を含む</p> <p>②新発債の利率は国の平成20年度予算の概算要求ベースを見込み、年2.9%で見込む</p> <p>③平成20年度………9月補正後予算額 ※市民ホール中止決定に伴う起債の繰上償還 74百万円を計上</p> <p>④平成20年度から平成22年度の土地開発公社経営健全化のための貸付債（高司4丁目公社所有地の買戻しを3年分割に変更）の発行を見込む</p>
	物件費	<p>①平成20年度………9月補正後予算額</p> <p>②平成21年度以降………今後の委託費を見込むとともに、 平成22年度は市長選挙関係経費、平成23年度は市議会議員選挙関係経費を見込む</p>
	補助費等	<p>①平成20年度………後期高齢者医療制度開始に伴う補助金計上、9月補正反映</p> <p>②平成21年度以降………対前年度伸率0%として算出</p> <p>③平成22年度は市長選挙関係経費、平成23年度は市議会議員選挙関係経費を見込む</p> <p>④公営企業補助金は、今後の見込額</p>
	維持補修費	<p>①平成20年度………9月補正後予算額</p> <p>②平成21年度以降………対前年度伸率0%として算出</p>
	積立金	<p>①平成20年度………財政調整基金は、平成19年度からの繰越金の1/2以上（3億円）を見込む 公共施設等整備保全基金の積立金を計上</p> <p>②平成21年度以降………見込まない</p>
	繰出金	<p>①平成20年度………当初予算計上額</p> <p>②平成21年度以降………給付費に係る繰出金については、各特別会計での今後の見込額（平成23年度から老人保健医療事業費会計廃止）</p>
投資的経費	<p>①平成20年度………9月補正後予算額</p> <p>②平成21年度以降………一般財源ベースで年間26億円を見込む</p>	

平成20年10月財政見直し(普通会計一般財源ベース)

区分	財政健全化に向けての取組期間							H20-H24 5カ年合計	H20-H22 取組期間合計
	H19 (決算)	H20 (9月補正反映)	H21	H22	H23	H24	(単位:百万円)		
収入									
A 市税	36,388	36,551	35,827	36,371	36,805	36,485	182,039		
B 地方譲与税・交付金	3,797	3,660	3,740	3,619	3,670	3,720	18,409		
C 地方交付税等	4,724	4,569	4,829	4,736	4,429	4,025	22,588		
普通交付税	2,511	2,476	2,736	2,643	2,336	1,932	12,123		
特別交付税	459	450	450	450	450	450	2,250		
臨時財政対策債	1,754	1,643	1,643	1,643	1,643	1,643	8,215		
D その他の収入	5,325	3,680	1,612	1,672	1,835	1,634	10,433		
繰越金	827	485					485		
寄附金	764	640	640	700	700	700	3,380		
特定目的基金取り崩し	850	350	350	350	350	150	1,550		
市債管理基金取り崩し		74					74		
その他の収入	2,884	2,131	622	622	785	784	4,944		
E 財政健全化の取組額(歳入 未組込分)			4	8	8	8	28		
F 収入計(A+B+C+D+E)	50,214	48,460	46,012	46,406	46,747	45,872	233,497	140,878	
支出									
G 義務的経費(H+I+J)	26,642	26,847	26,567	26,137	25,590	24,674	129,815		
H 人件費	14,336	14,220	13,875	13,229	12,820	12,268	66,412		
I 扶助費	3,636	3,938	4,057	4,178	4,303	4,432	20,908		
J 公債費	8,670	8,689	8,635	8,730	8,467	7,974	42,495		
K その他の経費(L+M+N+O+P+Q)	20,174	20,404	18,875	19,103	19,280	19,357	97,019		
L 物件費	7,119	7,582	7,819	8,043	8,213	8,205	39,862		
M 補助費等	5,776	7,178	6,962	6,958	7,021	7,036	35,155		
企業会計補助金	3,801	3,729	3,567	3,488	3,439	3,430	17,653		
その他補助金	1,975	3,449	3,395	3,470	3,582	3,606	17,502		
N 維持補修費	321	321	321	321	321	321	1,605		
O 積立金	2,050	1,542	0	0	0	0	1,542		
うち、財政調整基金積立額	384	300					300		
P 繰出金	4,312	3,738	3,747	3,755	3,699	3,769	18,708		
Q その他	596	43	26	26	26	26	147		
R 投資的経費等	2,796	2,464	2,600	2,600	2,600	2,600	12,864		
S ★ 県新行革プラン影響額(再掲)		23	23	23	23	23	115		
T 財政健全化の取組額(歳出 未組込分)		△ 11	△ 298	△ 299	△ 296	△ 293	△ 1,197		
U 支出計(G+K+R+T)	49,612	49,704	47,744	47,541	47,174	46,338	238,501	144,989	
V 収入支出の差引(F-U)	602	△ 1,244	△ 1,732	△ 1,135	△ 427	△ 466	△ 5,004		
W 繰り越すべき財源	417						0		
X 収支差引額(V-W)	185	△ 1,244	△ 1,732	△ 1,135	△ 427	△ 466	△ 5,004	△ 4,111	

財源不足額

財政対策(案)

区分	財政健全化に向けての取組期間							H20-H24 5カ年合計	H20-H22 取組期間合計
	H19 (決算見込)	H20 (9月補正反映)	H21	H22	H23	H24	(単位:百万円)		
計上済									
① 都市経営改革行動計画の取組額計(再掲)	1,630	1,111	950	1,103	1,074	1,074	5,312	3,164	
② 財政健全化の取組額合計(再掲)		792	1,255	1,292	1,046	1,043	5,428	3,339	
未計上									
③ H20財政健全化の取組等第1次ローリング		90	217	198	198	198	901	505	
④ H20財政健全化の取組等第2次ローリング		-	(予 算 編 成 時 に 算 定)						
⑤ 予算執行管理等効果額		497	791	870	893	730	3,781	2,158	
⑥ 財政調整基金取り崩し	300								
⑦ 財政対策後の収支差引額(X+③+④+⑤)	485	△ 657	△ 724	△ 67	664	462	△ 322	△ 1,448	

※④ H20財政健全化の取組等第2次ローリングについては、事務事業見直し、補助金等の見直し、歳入の確保等に取り組み、予算編成に反映するとともに、更なる健全化を目指します。

(参 考)

平成19年度末「財政調整基金」残高

財政調整基金残高	3,932
----------	-------

平成19年度末「市債管理基金」残高

市債管理基金残高	1,655
----------	-------

財政見通し(対前回策定比較)

財政見通し(普通会計—一般財源ベース) 平成20年7月

区分	財政健全化に向けての取組期間									
	H19 (2007) 決算	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)
収入	36,368	36,551	35,827	36,371	36,805	36,485	108,749			
A 市税	3,797	3,797	3,740	3,619	3,670	3,720	11,019			
B 地方債与税・交付金	4,724	4,568	4,829	4,766	4,429	4,025	14,134			
C 地方交付税等	2,511	2,335	2,347	2,078	2,336	1,932	7,855			
D その他収入	1,754	1,643	1,643	1,643	1,643	1,643	4,929			
支出	5,325	3,680	1,612	1,672	1,835	1,834	6,964			
G 義務的経費	26,842	26,947	26,987	26,137	25,500	24,674	79,551			
H 人件費	3,636	3,936	4,037	4,178	4,303	4,432	12,173			
I 扶助費	8,670	8,689	8,635	8,730	8,467	7,974	26,054			
J 公債費	20,174	20,404	19,875	19,103	18,280	19,357	58,382			
K その他経費	7,119	7,592	7,819	8,043	8,213	8,205	23,444			
L 物件費	5,776	7,178	6,962	6,956	7,021	7,036	21,095			
M 補助費等	3,801	3,725	3,567	3,488	3,439	3,430	10,784			
N 繰上償還費	1,975	3,449	3,395	3,470	3,562	3,606	10,314			
O 積立金	321	321	321	321	321	321	963			
P 繰出金	2,050	1,542	0	0	0	0	1,542			
Q その他	4,312	3,738	3,747	3,755	3,659	3,769	11,240			
R 投資的経費等	596	43	26	26	26	26	95			
S 県庁舎等リース償還(再掲)	2,796	2,464	2,600	2,600	2,600	2,600	7,664			
T 健全化の取組(繰上償還)	23	23	23	23	23	23	69			
U 計(G+H+I+J+K+L+M+N+O+P+Q+R+T)	49,612	49,704	47,744	47,541	47,174	46,338	144,989			
V 収入支出差引(F-U)	602	1,244	1,732	1,735	1,671	1,648	4,111			

*収入支出差引額602百万円には、翌年度に繰り越すべき財源417百万円を含む。

財政見通し(普通会計—一般財源ベース) 平成20年10月

区分	財政健全化に向けての取組期間									
	H19 (2007) 決算	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)
収入	36,368	36,551	35,827	36,371	36,805	36,485	108,749			
A 市税	3,797	3,797	3,740	3,619	3,670	3,720	11,019			
B 地方債与税・交付金	4,724	4,568	4,829	4,766	4,429	4,025	14,134			
C 地方交付税等	2,511	2,335	2,347	2,078	2,336	1,932	7,855			
D その他収入	1,754	1,643	1,643	1,643	1,643	1,643	4,929			
支出	5,325	3,680	1,612	1,672	1,835	1,834	6,964			
G 義務的経費	26,842	26,947	26,987	26,137	25,500	24,674	79,551			
H 人件費	3,636	3,936	4,037	4,178	4,303	4,432	12,173			
I 扶助費	8,670	8,689	8,635	8,730	8,467	7,974	26,054			
J 公債費	20,174	20,404	19,875	19,103	18,280	19,357	58,382			
K その他経費	7,119	7,592	7,819	8,043	8,213	8,205	23,444			
L 物件費	5,776	7,178	6,962	6,956	7,021	7,036	21,095			
M 補助費等	3,801	3,725	3,567	3,488	3,439	3,430	10,784			
N 繰上償還費	1,975	3,449	3,395	3,470	3,562	3,606	10,314			
O 積立金	321	321	321	321	321	321	963			
P 繰出金	2,050	1,542	0	0	0	0	1,542			
Q その他	4,312	3,738	3,747	3,755	3,659	3,769	11,240			
R 投資的経費等	596	43	26	26	26	26	95			
S 県庁舎等リース償還(再掲)	2,796	2,464	2,600	2,600	2,600	2,600	7,664			
T 健全化の取組(繰上償還)	23	23	23	23	23	23	69			
U 計(G+H+I+J+K+L+M+N+O+P+Q+R+T)	49,612	49,704	47,744	47,541	47,174	46,338	144,989			
V 収入支出差引(F-U)	602	1,244	1,732	1,735	1,671	1,648	4,111			

*収入支出差引額602百万円には、翌年度に繰り越すべき財源417百万円を含む。

差額(H20.10—H20.7)

区分	財政健全化に向けての取組期間									
	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)
収入	0	△ 106	△ 522	△ 516	△ 527	△ 534	△ 1,144			
A 市税	0	△ 391	△ 774	△ 788	△ 798	△ 812	△ 1,953			
B 地方債与税・交付金	0	△ 80	492	763	961	936	1,197			
C 地方交付税等	0	△ 59	369	565	670	560	895			
D その他収入	0	△ 14	△ 70	△ 10	△ 10	△ 10	302			
支出	0	△ 71	△ 70	△ 10	△ 10	△ 10	△ 151			
G 義務的経費	0	△ 571	△ 874	△ 549	△ 375	△ 409	△ 1,994			
H 人件費	0	△ 1	0	△ 1	△ 1	△ 1	△ 2			
I 扶助費	0	0	38	62	49	99	98			
J 公債費	0	61	△ 21	5	△ 108	△ 141	45			
K その他経費	0	12	12	12	12	12	13			
L 物件費	0	113	△ 103	△ 116	△ 117	△ 141	△ 106			
M 補助費等	0	52	△ 36	24	23	△ 1	112			
N 繰上償還費	0	61	△ 139	△ 140	△ 140	△ 140	△ 218			
O 積立金	0	5	5	5	5	5	15			
P 繰出金	0	△ 1	65	104	△ 8	△ 18	169			
Q その他	0	△ 66	0	0	0	0	△ 68			
R 投資的経費等	0	31	0	0	0	0	31			
S 県庁舎等リース償還(再掲)	0	0	0	0	0	0	0			
T 健全化の取組(繰上償還)	0	0	0	0	0	0	0			
U 計(G+H+I+J+K+L+M+N+O+P+Q+R+T)	0	91	15	66	△ 60	△ 36	△ 216			
V 収入支出差引(F-U)	0	△ 662	△ 889	△ 615	△ 315	△ 366	△ 2,166			

(単位:百万円)

(参考)

地方債の状況

(単位:百万円)

区 分	H19	H20	H21	H22	H23	H24
地方債発行額	3,688	5,281	6,118	5,927	3,643	3,643
普通債	1,934	1,751	2,000	2,000	2,000	2,000
公社健全化貸付債	0	1,887	2,475	2,284	0	0
臨時財政対策債	1,754	1,643	1,643	1,643	1,643	1,643
元金償還額	7,127	7,332	7,455	7,585	7,342	6,880
地方債残高	85,172	83,121	81,784	80,126	76,427	73,190

平成20年10月

財政課

「財政見通し（20年10月）」策定時における今後の主な行政課題（未反映分）

	行政課題	内容
1	市立病院への経営支援	病院経営の資金不足に伴う市からの貸付金
2	公共施設の耐震化、計画修繕、維持補修工事等	(1)学校施設
	*原則として投資的経費一般財源ベース（年間26億円）及び「公共施設等整備保全基金（約13.5億円）」を年次計画的に活用	(2)公共施設保全計画による公共施設等
		(3)橋梁
3	<p>県新行革プラン</p> <p>*県行革削減分について、さらに市単独事業を行う場合は、既存の単独事業（例：市民福祉金等）の見直し等総合的対策の検討が必要</p>	<p>福祉医療制度の見直し</p> <p>(対象)老人、障害者、乳幼児等、母子等</p>
4	宝塚まちづくり株式会社への支援のあり方	現在、債務負担行為（6億円の損失補償）の設定中